

事業所名

奈良県障害者総合支援センター
わかくさ愛育園

支援プログラム

作成日

令和

7年

3月

1日

法人（事業所）理念		【法人】 障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なりハビリテーションサービスを通して相互に人格と個性を尊重し支え合う「ともに生きる」社会の実現に貢献します。					
支援方針		様々な遊びを経験し成功体験を重ねることを通して、親子関係を築き、情緒の安定を図り、生活習慣の確立、運動発達、集団参加を促し、コミュニケーション手段の獲得等を促します。親子通園により、保護者に子育てに必要な知識・技術・元気・喜びを獲得していただくとともに、親子の愛着関係を形成する支援を行ないます。					
営業時間		9時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	日々通園することで健康状態の維持、改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援し、食事、排泄、衣服の着脱、身の回りの清潔等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援を行ないます。また、健康な生活の基本となる食べる力の育成に努め、楽しく食事ができるように、口腔内の機能・感覚等に配慮しながら、訓練士とも連携して捕食、咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行ないます。					
	運動・感覚	日常生活に必要な姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善および習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化等を訓練士と連携を図りながら療育の中で行ないます。また、自力での身体移動や歩行、歩行器による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行ないます。こどもの特性や発達段階に応じた運動経験を通して、体を動かす意欲を引き出し、体力や運動機能の向上を図ります。また、感覚特性に配慮した様々な手指操作や感触遊び等を取り入れ五感に働きかけます。					
	認知・行動	様々な遊びを通して、こども自身で感じ、考え新たな気づきが得られるような活動の機会を提供し、こどもの特性に応じた環境調整を行ないながら、状況に応じた行動調整ができるよう支援します。					
	言語 コミュニケーション	こどもにとって理解しやすい情報を整理し、こどもの伝えたいという気持ちを育みながら、こどもが安心して他者と関われるよう、個々の状態に合わせたコミュニケーション手段を用いて、丁寧なやりとりを行ないます。					
	人間関係 社会性	周囲の大人や友だちと楽しく関わる経験を通して、自分や相手の気持ちを知り、自分と他者の違いを理解したうえで互いに認め合い、協力できる力を身につけ、良好な関係を築けるよう支援します。					
家族支援		親子通園、連絡帳のやり取りや引き継ぎの機会を通して、日々の療育の様子や支援方法について、保護者と情報共有を行ない、要望や必要に応じて個別相談を実施します。また、訓練士や心理士等による研修会を実施し、保護者が我が子への理解を深められるよう支援します。			移行支援	こどもにとって最善の選択ができるよう、研修会、個別懇談等を実施し、また、関係機関と連携を図り支援します。	
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援や、こども地域支援事業を実施し関係機関と連携を図ることで、障害に関する理解を促し、インクルーシブ社会の実現につながるよう支援します。また、支援者向け研修会を実施し、地域支援、地域連携の強化を図ります。			職員の質の向上	施設内研修、外部研修、療育前後のミーティングやケース会議の定期開催を通して療育支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		誕生会、七夕、水遊び、遠足、クリスマス会、豆まき、ひな祭り、保育参観など					